

種馬の市場販売は、318頭で22億7,800万円と、前年より43頭多く、6,770万円の増加となりました。平成25年度産馬は1,100頭程生産されており、仔分、預託、庭先販売の収入を含めますと、やはり主要な産業といえます。

当JAの平成27年度に向けましては、各作目ともに産業奨励事業やブランド品の市場拡大と栽培技術の向上、新品種への取り組みなど、安定した生産経営を推し進めていきたいと思えます。

地域農業の担い手確保対策については、昨年から新規就農の農家1期生2組の研修生が農業を始めました。今年度は、2期生3組7名が就農予定となっております。この後、3期生、4期生と就農予定であり、研修生の積極的な受け入れと農業後継者の育成を図り、農業担い手の確保に取り組んで参りますので、組合員皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

ホツカイドウ競馬の昨年の開催結果は皆様のご支援を頂きまして、発売額計画対比112.0%の157億669万円となり、2年連続で黒字収支となりました。各振興会、青年部・女性部他多くの方々のご支援に対しまして、深く感謝を申し上げます。

ます。

また、今年度からは、内回りコースが新設され、バリエーションのある番組となる予定であり、レベルの高いホツカイドウ競馬になると期待をしており、当JAと致しましても引き続き支援をして参りますので、皆様におかれましても、これまで以上のご支援をお願い致します。



当JAの各部事業については、総会資料に詳しく掲載しておりますが、信用事業については、JAバンクグループの改正で金融機関に対する規制が一層強化され、「要改善JA」と

して、事業全般にわたり、経費節減の中で利益確保を図り、経営改善を進めて参りました。

結果、ほぼ計画通りの3,361万円の剰余金を計上することができ、このことにより、自己資本比率は前年度末の8.69%から1.05%増加し、9.74%となりました。平成27年度におきましても引き続き財務改善に取り組んで参りますので、組合員皆様のより一層のご理解をお願い致します。

しずない・にかつぷ・ひだか東の3JAの合併につきましては、目標年度を定めておりましたが、合併検討協議会の中で、まずは自らの自助努力による財務改善を図り、合併環境を整えることを最優先とすることを決め、引き続き組合員皆様の理解と協力の中で取り組んでいかなければならないと思っております。宜しくご理解の程お願い申し上げます。

更に今年度は、新たなJAしずない農業振興5カ年計画の年です。「活力と豊かな農業をめざして」ということで、農業所得410万円以上を目標として取り組んでいきたいと思っております。ご検討頂きたいと思っております。

この様な環境の中、平成27年度におきましても、地域農業振興、JA財務の健全化を図るため、更に努力

をして参る所存でありますので、ご理解、ご支援をお願いするところでありませう」と挨拶がありました。

議長には、有田英二氏、原括也氏が選任され、上程された6議案全てが原案通り可決となりました。

そして、決議事項として提出された「農協改革に関する決議案」について、泊寿幸管理・金融・経営融資部専門委員長が、「TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議(案)」については、落合信幸JAしずない青年部長が朗読し、ともに出席者全員からの満場一致で承認されました。

